

こんばんは。北大生協学生委員会です！

そろそろ秋なのかなと思いつつ、日中はまだまだ暑い日もあって大変ですね。

さて、今回お届けする内容は「併願私立校の決め方」「学部紹介 農学部②」です。

■□■併願私立校の決め方

みなさんは志望校や併願私立校はもう決めていますか？

このメルマガを読んでいる大半の方の志望校は北大だと思えますが、併願私立校はまだ決まっていないという方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、北大生が併願私立校をどのように決めたのかを紹介したいと思います。ぜひ参考にしてみてください！

◎ちゅーご(1年総理)の場合

私は5つの私立大学を受験しました。どのようにこの5つの大学を決めたのか紹介したいと思います。

1つ目の大学は、確実に合格する自信があった大学です。この大学の受験日が共通テスト直後だったこともあり、入試の練習として受験しました。私立大学の受験会場は共通テストの会場とは異なる独特の雰囲気があるため、難易度の高くない私立大学で入試本番の雰囲気に慣れておくことは大切だと思います。

2つ目の大学は共通テスト利用方式で出願しました。共通テスト利用方式とは、共通テストの点数のみで合否が決まる方式で、その大学に受験しに行く必要がありません。大学によっては、共通テストの点数と大学の入試問題の点数の合計で合否が決まるという方式をとっているところもあります。私がこの大学に共通テスト利用方式で出願した理由は、目標としていた共通テストの点数が取れているか確かめるためでした。知っている人も多いと思いますが、共通テストの実際の点数が自分のものに届くのは国立大学の入試が終わった後です。なので、自己採点で判断するしかありません。自分が目標としている共通テストの点数がボーダーとなっている大学の共通テスト利用方式に出願することで、「目標の点数が取れているか」と「自己採点が合っているか」を大まかに確かめることが出来ます。

3つ目と4つ目の大学は、普段通りの実力が発揮できれば合格可能な大学を選びました。しかし、このようなレベルの私立大学の受験を甘く見ていると不合格になってしまうことも十分にあり得ます。最低一回は過去問を解いて受験するようにしましょう。

5つ目の大学は合格出来るかどうか五分五分の大学を選びました。いわゆる「挑戦校」です。このレベルの大学は「不合格になっても仕方ない」という気持ちで割り切って受験できるので、力試しも兼ねて受けてみてもよいのではないのでしょうか。

ここまで私の場合を紹介してきましたが、併願私立校の受験の仕方に正解は存在しません。自分の気持ちや、学校の先生、両親などと相談して慎重に検討していきましょう。

◎あすのん(1年総理)の場合

私は、浪人してもう1年受験生として頑張れる自信がなかったので、滑り止めという意味で併願校を選びました。ちゅーごと同じく、模試で常にA判定が出ているような大学から、合格できるか分からない大学まで様々な偏差値帯の4校を受験しました。

併願校選びにおいて一番重要視したのは、本当に行きたいかどうかです。国公立がすべて不合格だった場合は入学することになるわけなので、安易な気持ちで受験せず、合格したら行きたいと思えるかをよく考えてから選びました。

また、多くの私立の試験と合格発表は国公立の受験より先に行われるため、北大を受験する前に不安を軽減させることもできます。

以前のメルマガでご紹介した通り、総合入試では学部を決めないまま受験します。1年間かけて興味を広げ、学部を選ぶことができるのはメリットではありますが、同時に、行きたい学部学科に移行することができるのかという不安を誰もが持っていると思います。私はもともと薬学部に行きたいと思っていたので、私立の併願校は全て薬学部を選びました。もちろん一番行きたいと思っていたのは北大でしたが、もしも北大に落ちてしまったら、私立で薬学部確実に行くことができるという前向きな気持ちで北大の受験に臨むことができ、プレッシャーが軽減したのは良かったと思っています！

私立受験における反省点は、試験日が4日連続だったということです。普段の学校生活では5日や6日連続で登校して勉強しているので、4日間くらい頑張れるだろうと思い受験しましたが、さすがに疲れまして…。国公立前期の受験日も近づいている中での私立の受験になるので、体調を崩してしまっても大変です。無理のない日程で受験できるよう、スケジュールをきちんと確認してくださいね。(試験日のスケジュール以外にも、合格発表日や入学手続きの締切日なども確認し、無駄な費用が掛かることのないようにすることも重要です。スケジュールの管理は大変ですが、ご家族ともよく相談して併願校を決めるようにしましょう！！)

滑り止めの意味合いだけでなく、私立の受験は、慣れない環境下での試験の練習にもなります。共通テストも普段とは異なった環境での試験になるとは思いますが、多くの方が自宅から試験会場に行き、高校や塾などの友人がある程度はいる中での試験になると思います。しかし、個別試験は必ずしもそうとは限りません。特に道外や札幌から離れた地域に住んでいる受験生は札幌近郊のホテルを利用することになり、慣れない環境での緊張感に戸惑うこともあると思います。北大の個別試験において最大限のパフォーマンスができるように、試験の練習としても私立を受験しておくことをおすすめします！

北大以外は考えられない！とか、どうしても国公立じゃなきゃダメなんです！とか、思いは人それぞれだと思いますが、2人の併願校選びのポイントも参考にさせていただけたら嬉しいです！！

■□■学部紹介 農学部②

応用生命科学科

応用生命科学科では植物や昆虫について分子レベルで研究を行なっています。植物の品種改良や遺伝子発現、環境応答についてなど農業への応用の架け橋となる学科です。

畜産科学科

畜産科学科では、普段口にしていくミルクや乳製品、食肉がどのように私たちのもとに届いているのか座学と実習を通して学びます。特に実習では、家畜の管理や乳製品・食肉の製造など、「The 畜産！」な内容はもちろん、微生物や細胞・組織などミクロな視点からも家畜という動物を学ぶことができます。食べることが好き！動物が好き！という方におすすめの学科です。

生物環境工学科

農学分野に対し、工学でアプローチする学科です！無人トラクターや環境に配慮した循環農業や土壌特性の解明、数理モデルによる微生物挙動の予測や、農業における土木工学、その他農業に関わる生態の解明などとても幅が広いです！

農業経済学科

農学部の中では1番時間にゆとりがあります。内容はめちゃくちゃ文系で、教授は全員北大農業経済学科卒の大先輩たちです。卸売市場に見学に行ったり農村に出向いて調査したり農学部らしいフィールドワークもあって農業経済を学びたい人にとってはこれ以上ない環境だと思います。

■□■今日の写真……………

今日の写真は、「羊ヶ丘展望台」「今が旬のホッケ」です！

羊ヶ丘展望台

https://drive.google.com/file/d/15EaKuPcBjZ63iud14rtB-w_d4GEwp-rc/view?usp=sharing

今が旬のホッケ

https://drive.google.com/file/d/1-9q_uNwqngqJZZVaHjknAuJZWLhKdscw/view?usp=sharing

■□■今日の問題……………

今回は意味が似ていて紛らわしい英単語です。何となくは分かるけど、正確に訳出できない！というのはもったいないので、この機会に覚えてみましょう！

1. wood(不可算名詞)
2. woods
3. star
4. planet
5. obtain
6. acquire

…………▶▶前回の解答

1. 教義・学説
2. (～を) 確信している
3. 牧師、司祭
4. ～を祝福する
5. 神話

■□■今週のブログ……………

ブログを更新しました！今回は「受験生時代に聞いていた曲」です。

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/blog-entry-1119.html>

次の配信は「北大の食堂メニュー紹介」「学部紹介 水産学部①」です。お楽しみに！

■□■追伸……………

受験期は時間が無いため旅行に行けませんが、私立大学の入試は合法的に遠出ができるので少しワクワクしていました笑

(総理・1・ちゅーご)

とある私立大学が、長野(私の地元です)にも試験会場を設けてくれるというので受験したところ、会場に受験生は私1人だけでした…。忘れもしないあの緊張感。
(総理・1・あすのん)

○バックナンバーはこちらから

<https://hokudai-coop-gi.com/mail/mail.html>

○配信停止はこちらから

%url/https:out:ouen23stop%

○北大生協学生委員会のブログはこちらから

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/?cat=22>

○質問等はこちらまで

北大生協学生組織委員会

jukensei_ouen@coop.hokudai.ac.jp
